

科目名	情報リテラシー実践I		基礎科目群	単位数	2	
担当教員	時間割参照	前期	月曜日～金曜日	2・3・5限		
科目ナンバリング 2018年度以降入学生対象	GAB-101-1：全学共通科目					
授業方針・テーマ	ICT（Information and Communication Technology）を活用し、具体的な課題解決を行う。					
習得できる知識・能力や 授業の目的・到達目標	<ul style="list-style-type: none">・情報機器の使い方を理解し、具体的な課題解決の場面で情報を収集、分析、判断、編集、発信、共有することができる（幅広い教養としての知識・理解、情報活用能力）・情報化社会の特徴を理解し、情報セキュリティ、情報モラル・ルールとマナー、ソーシャルメディア、著作権・肖像権侵害、ネット犯罪の観点からインターネット上での問題に対処する方法を考えることができる（倫理観、社会的責任の自覚）・ペアワークやグループワークを通じて、他者に自分の考えを伝え、相手の意見や疑問等を理解しながら協調的に活動できる（コミュニケーション能力）					
授業計画・内容 授業方法	<p>対面授業が可能となるまでは、原則、オンライン授業（リアルタイム授業とオンデマンド授業の両方）を実施する。 流動的な変更が生じる可能性もあるため、詳しくは担当教員からの指示に従うこと。</p> <p>【基本】4回程度</p> <p>0. 情報倫理講習のオンライン受講（ビデオの視聴、チェックテストの回答）</p> <p>1. 授業ガイダンス（情報処理教室の使い方、教育システムの紹介）、レディネス調査</p> <p>2. コンピュータの基本操作と構造（ファイル・フォルダの管理、電子メールの送受信）</p> <p>3. ネットワークの仕組み、情報検索（WWWでの情報検索、学術情報）</p> <p>4. 情報の活用と情報倫理、情リテ情報倫理テスト</p> <p>【標準】4回～6回程度</p> <p>5. 文書作成ソフトによる文書編集(1)（文書の作成・保存、文字の種類・サイズ・位置揃え、段落番号、箇条書きなど）</p> <p>6. 文書作成ソフトによる文書編集(2)（表の作成、図の貼り付け、図形の描画など）</p> <p>7. 表計算ソフトによるデータ処理(1)（表の行と列、データの入力、セルの調整、数式処理、オートフィルなど）</p> <p>8. 表計算ソフトによるデータ処理(2)（関数、絶対参照と相対参照、グラフの作成など）</p> <p>9. 表計算ソフトによるデータ処理(3)（ソート、フィルタ、データの集計など）</p> <p>10. 課題提出のための実習（文書作成ソフトと表計算ソフトを用いたレポート作成など）</p> <p>【発展】4回～5回程度（学習内容については、担当教員の指示に従う）</p> <ul style="list-style-type: none">・プレゼンテーション(1)（スライドの作成、画像の挿入、アニメーション、ハイパーリンクなど）・プレゼンテーション(2)（グループまたはクラス全体での発表、質疑応答など）・プログラミングの基礎(1) / プログラミングの基礎(2)・動画編集(1) / 動画編集(2)・HTML(1) / HTML(2) <p>15. まとめ</p> <p>授業開始日以前に、kibaco等で学習教材が公開される予定となっている。 情報倫理講習については、授業開始日以前に、全員が終了していることを前提とする。 【標準】および【発展】の学習内容は、各学部・学系により異なる場合がある。</p>					
授業外学習	eラーニングシステム「kibaco」上のコースウェアや、担当教員が公開する資料などを用いて、予習や復習、課題への取り組みを十分に行うこと。 オンライン授業の実施に伴い、メッセージや掲示板等を活用する場合もあるため、以下のウェブサイトより「kibaco 利用ガイド」を確認すること。 http://www.comp.tmu.ac.jp/e-learning/kibaco_guide.html					
テキスト・参考書等	eラーニングシステム「kibaco」上に、標準コースウェアおよび各種動画コンテンツを設置する。 クラスによっては担当教員から別途、指示される場合がある。					
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none">・授業への積極的な参加、【基本】【標準】【発展】で提示される課題や発表、情リテ情報倫理テストなどの観点に基づき、総合的に評価する（担当教員により若干異なる場合がある）・課題や発表については、ICTを活用した課題解決に主体的に取り組んでいるかどうかを評価する（幅広い教養としての知識・理解、情報活用能力）・その際、ピア評価やルーブリック評価を活用し、他者と協調する姿勢についても確認する（コミュニケーション能力）・情リテ情報倫理テストでは、一般的な情報倫理に加えて、本学の情報環境に関する利用方法を理解できているかを確認する（倫理観、社会的責任の自覚）・4回以上の欠席は原則として不合格とする					

科目名	情報リテラシー実践Ⅰ		基礎科目群	単位数	2	
担当教員	時間割参照	前期	月曜日～金曜日		2・3・5限	
科目ナンバリング 2018年度以降入学生対象	GAB-101-1：全学共通科目					
質問受付方法 (オフィスアワー等)	担当教員により異なるため、授業ガイダンスの際に提示する。 なお、本授業に関する最新情報は、以下のウェブサイトを確認すること。 https://infolit.uec.tmu.ac.jp/infolit/					
特記事項 (他の授業科目との関連性)	初回の「情報倫理講習」を受講しない場合、原則として授業に参加できなくなるため注意すること。 関連する授業科目として、後期に情報リテラシー実践 A（統計学の基礎とデータ分析）、情報リテラシー実践 B（プログラミング）、情報リテラシー実践 C（画像・音・映像等の処理）を提供している。					